



始



互業調査書

横濱市役所

14.8

188

146



市

工業調査書

昭和拾貳年

横濱市役所



序

世界大戦を契機として襲來した經濟界の不況は遂に工業方面にも累を及ぼし、爲に業者は一大打撃を蒙り、諸種の切抜策を講じ、辛うじてその經營を持続し來つたが、大戦前の營業状態には比すべくもなく、工業方面各部門に亘つて殆ど赤字續きで、業者の苦痛は想像以上のものがあつた。

然るに昭和六年冬に行はれた金輸出再禁止に依つて貿易界が漸次活氣を呈し、先づ輸出工業方面に生氣を生じ、次いで軍需インフレに依り重工業方面の活況となり、兩々相俟つて他の諸工業にも好影響を與へ、工業界は再び全面的の活動を見るに至つた。

而して貿易界最近の好況は金輸出再禁止後の爲替下落に起因することは勿論であるが、日本商品の生産費の割安と生産技術の優秀により品質優良なる點に大なる原因が存するのである。

斯の如き、活況を呈しつゝありとは雖も、大工場を除く多くの中小工業に於ては經營の方法、設備、機構に於て尙多くの缺陷を有しつゝあることは見のがせない。故に政府は曩に重要輸出品組合法を制定し、或は工業組合等の結成を促して各業者間の統制聯絡を圖り、或は中小商工業者に対する資金の融通を爲し、各種團體を通じて指導を行ふ等、諸種の施設を爲し來つたのである。然し眞の對策を得るにはこれら中小工業の實情を審にするの要がある。之が爲には何よりも先づ中小工業者の實態を調査せる正確完全なる統計的事實を得ることが緊要となるが、不幸にして我國には斯の種の資料に乏しい。故に昭和八年商工省は六大都市及びその所在府縣その他に委囑して此の工業調査を行はしめたのである。

本市亦欣然之に應じ、昭和八年七月一日現在を以て實地調査を爲したるが、その後諸種の事情の爲今日に至つて漸く完成を見たのであつて、本書は實にこの結果を表章したものである。之により本市工業界の實情を審かにし、工業振興對策の資料たるを得ば關係者の喜び之にすぐるものはない。

凡 例

1. 本書は商工省の委嘱に依り、昭和8年7月1日現在に於て本市内に工場又は職場を有するものに付て調査したる結果を集計輯録したものである。
2. 本書中の数字は昭和7年末、昭和7年中或は同年度末の事實に據つたものである。
3. 本調査の結果表章に付ては極めて必要なる事項のみに限つた。
4. 本書中「—」線の部分はその事實のないことを示してゐる。
5. 本調査は商業調査と同時に施行せられたため、小賣販賣を目的として製造、加工、修理を爲すものに付ては商業調査に於て調査せるを以て本調査からは除外せられてゐる。
6. 本書の目次中に参照とあるは統計表のないものであるが、閱讀に便なるやう目次中に掲げたのである。

工業調査書目次

序	1
凡例	1
緒言	1
(一) 工業調査の目的	1
(二) 調査の時	1
(三) 調査の範囲	1
(四) 調査の方法	1
(五) 調査事項	1
總説	1
(一) 工場及職場	2
1. 總説	2
2. 工場及職場の分布	2
3. 各區業態別	3
4. 各區組織別	3
5. 資本階級別業態別	4
6. 各區産業種別	6
(二) 資本金	7
1. 總説	7
2. 組織別	7
3. 業態別	8
4. 資本階級別	8
5. 産業種別	9
(三) 原動機	10
1. 總説	10
2. 組織別	11
3. 業態別	12
4. 資本階級別	12
5. 産業種別	13
(四) 従業員	14
1. 組織別	14
2. 業態別	15
3. 資本階級別	16
4. 産業種別	18
(五) 生産額	19
1. 組織別	19
2. 業態別	19
3. 資本階級別	20
4. 産業種別	21
(六) 収入及支出	22
1. 總説	22

2. 組織別	22
3. 業態別	24
4. 資本階級別	25
5. 産業種別	27
(七) 借入金	30
1. 組織別	30
2. 業態別	30
3. 資本階級別	31
4. 産業種別	32

統計表

第一 總數	2
總數	2
イ、本業總數	10
ロ、副業總數	18
第二 組織別總數	26
一、個人總數	26
イ、個人本業	34
ロ、個人副業(第1—ロ参照)	42
二、法人總數(副業ナン)	42
イ、合名會社	50
ロ、合資會社	58
ハ、株式會社	66
ニ、組合其他	74
第三 業態別(組織別)	82
一、製造之部	82
(一) 總數	82
イ、本業總數	90
ロ、副業總數	98
(二) 個人總數	114
イ、個人本業	114
ロ、個人副業(第3—1—(一)—ロ参照)	122
(三) 法人總數(副業ナン)	122
イ、合名會社	130
ロ、合資會社	138
ハ、株式會社	146
ニ、組合其他	154
二、製造加工修理之部	162
(一) 總數	162
イ、本業總數	170

ロ、副業總數	178
(二) 個人總數	186
イ、個人本業	194
ロ、個人副業(第3—2—(一)—ロ参照)	202
(三) 法人總數(副業ナン)	202
イ、合名會社	210
ロ、合資會社	218
ハ、株式會社	226
ニ、組合其他	234
三、加工修理之部	242
(一) 總數	242
イ、本業總數	250
ロ、副業總數	258
(二) 個人總數	266
イ、個人本業	274
ロ、個人副業(第3—3—(一)—ロ参照)	282
(三) 法人總數(副業ナン)	282
イ、合名會社	290
ロ、合資會社	298
ハ、株式會社	306
ニ、組合其他	314

第四 資本階級別

一、資本階級別總數	322
(一) 百圓未満	322
(二) 百圓以上五百圓未満	330
(三) 五百圓以上千圓未満	338
(四) 千圓以上二千圓未満	346
(五) 二千圓以上五千圓未満	354
(六) 五千圓以上一萬圓未満	362
(七) 一萬圓以上五萬圓未満	370
(八) 五萬圓以上十萬圓未満	378
(九) 十萬圓以上五十萬圓未満	386
(十) 五十萬圓以上百萬圓未満	394
(十一) 百萬圓以上五百萬圓未満	402
(十二) 五百萬圓以上	410
二、資本階級別本業總數	418
(一) 百圓未満	418
(二) 百圓以上五百圓未満	426
(三) 五百圓以上千圓未満	434
(四) 千圓以上二千圓未満	442

(五) 二千圓以上五千圓未満	450
(六) 五千圓以上(第4—1—(六)乃至(十二)参照)	
三、資本階級別副業總數	458
(一) 百圓未満	458
(二) 百圓以上五百圓未満	466
(三) 五百圓以上千圓未満	474
(四) 千圓以上二千圓未満	482
(五) 二千圓以上五千圓未満	490
(六) 五千圓以上(副業ナン)	

第五 資本階級別業態別

一、製造總數之部	498
(一) 百圓未満	498
(二) 百圓以上五百圓未満	506
(三) 五百圓以上千圓未満	514
(四) 千圓以上二千圓未満	522
(五) 二千圓以上五千圓未満	530
(六) 五千圓以上一萬圓未満	538
(七) 一萬圓以上五萬圓未満	546
(八) 五萬圓以上十萬圓未満	554
(九) 十萬圓以上五十萬圓未満	562
(十) 五十萬圓以上百萬圓未満	570
(十一) 百萬圓以上五百萬圓未満	578
(十二) 五百萬圓以上	586
二、製造本業之部	594
(一) 百圓未満	594
(二) 百圓以上五百圓未満(第5—1—(二)参照)	602
(三) 五百圓以上千圓未満	610
(四) 千圓以上二千圓未満	618
(五) 二千圓以上五千圓未満	626
(六) 五千圓以上(第5—1—(六)以下参照)	
三、製造副業之部	634
(一) 百圓未満	634
(二) 百圓以上五百圓未満	642
(三) 千圓以上二千圓未満	650
(四) 二千圓以上五千圓未満	658
(五) 五千圓以上(ナン)	
四、製造加工修理總數之部	666
(一) 百圓未満	666
(二) 百圓以上五百圓未満	674
(三) 五百圓以上千圓未満	

(四) 千回以上二千回未満 682
 (五) 二千回以上五千回未満 690
 (六) 五千回以上一萬回未満 698
 (七) 一萬回以上五萬回未満 706
 (八) 五萬回以上十萬回未満 714
 (九) 十萬回以上五十萬回未満 722
 (十) 五十萬回以上(ナシ)

五、製造加工修理本業之部

(一) 百回未満(第5-4-(一)参照)
 (二) 百回以上五百回未満 730
 (三) 五百回以上千回未満 738
 (四) 千回以上二千回未満 746
 (五) 二千回以上五千回未満(第5-4-(五)参照)
 (六) 五千回以上一萬回未満(第5-4-(六)参照)
 (七) 一萬回以上五萬回未満(第5-4-(七)参照)
 (八) 五萬回以上十萬回未満(第5-4-(八)参照)
 (九) 十萬回以上五十萬回未満(第5-4-(九)参照)
 (十) 五十萬回以上百萬回未満(第5-4-(十)参照)
 (十一) 百萬回以上(ナシ)

六、製造加工修理副業之部

(一) 百回未満(ナシ)
 (二) 百回以上五百回未満 754
 (三) 五百回以上千回未満 762
 (四) 千回以上二千回未満 770
 (五) 二千回以上(ナシ)

七、加工修理總數之部

(一) 百回未満 778
 (二) 百回以上五百回未満 786
 (三) 五百回以上千回未満 794
 (四) 千回以上二千回未満 802
 (五) 二千回以上五千回未満 810
 (六) 五千回以上一萬回未満 818
 (七) 一萬回以上五萬回未満 826
 (八) 五萬回以上十萬回未満 834
 (九) 十萬回以上五十萬回未満 842
 (十) 五十萬回以上百萬回未満(ナシ)
 (十一) 百萬回以上五百萬回未満(ナシ)
 (十二) 五百萬回以上 850

八、加工修理本業之部

(一) 百回未満 858
 (二) 百回以上五百回未満 866
 (三) 五百回以上千回未満 874
 (四) 千回以上二千回未満 882
 (五) 二千回以上五千回未満(第5-7-(五)参照)
 (六) 五千回以上一萬回未満(第5-7-(六)参照)
 (七) 一萬回以上五萬回未満(第5-7-(七)参照)
 (八) 五萬回以上十萬回未満(第5-7-(八)参照)
 (九) 十萬回以上五十萬回未満(第5-7-(九)参照)
 (十) 五十萬回以上百萬回未満(ナシ)
 (十一) 百萬回以上五百萬回未満(ナシ)
 (十二) 五百萬回以上(第5-7-(十二)参照)

九、加工修理副業之部

(一) 百回未満 890
 (二) 百回以上五百回未満 898
 (三) 五百回以上千回未満 906
 (四) 千回以上二千回未満 914
 (五) 二千回以上(ナシ)

第六 産業種別

總 數 922
 (イ) 個人總數 924
 (ロ) 法人總數 926
 (ハ) 製造總數 928
 (ニ) 製造加工修理總數 930
 (ホ) 加工修理總數 932

緒 言

(一) 工業調査の目的

本調査は、生産に對する政策並に施設の基本的資料を得んが爲に、商工省の委嘱に依つて、産業組織の内容と工業經營の實際とを密かにする目的を以て、本市全區域に亘り行つたものである。近時我國工業界の不振な實情に照し、速かに之が根本的對策を確立することは頗る緊要のことであつて、之が爲には先づ正確無瑕なる統計的事實に據らねばならない。然るに我國に於ては斯種の統計に乏しいので、商工省では六大都市及其の所在府縣其の他に委嘱して本調査を行はしめ、産業振興の實を擧げんことを期してゐるのである。

(二) 調査の時

本調査は昭和八年七月一日現在に於て、本市内に工場或は職場を有し、製造、加工、修理を行ふものに付て行つた。そして昭和七年一月一日から同年十二月末日迄の一ケ年間の事實に付いて之を行ひ、事業年度を定むるものに在つては昭和七年度申若しくは同年度末の事實に據つたのである。

(三) 調査の範圍

苟くも本市内に工場或は職場を有し、製造、加工、修理を行ふものは凡て之を調査した。但し下記のもの之を調査範圍から除外した。

- 1、官公立工場。
- 2、學校、試験場、講習所等に於て生産を行ふもの。
- 3、自家用として自宅に於て生産を行ふもの。

尙小賣販賣を目的として製造、加工、修理を爲すものに付いては便宜上商業調査に於て之を調査することとしたから、此の種の工業は本書から除外されてゐる譯である。

(四) 調査の方法

昭和八年六月末より勸業課(現在の産業課)内に臨時商工業調査係を設け下記機關によつて行つたのである。

- 1、調査主任、一名。
調査事務を總括し、指導員及調査員を指揮監督する。
- 2、指導員四名。
調査員の指導及調査票の審査に従事する。
- 3、調査員、二十七名。
一名一調査區を擔當し、調査票の配付蒐集並に整理集計に従事する。

更に調査員心得、調査票記入心得、調査票檢査手續等を定めて調査の圓滑且正確に施行せられることを期したのである。

而して準備調査及本調査に分ち、工場臺帳、納税臺帳其の他に依つて調査區内の該當者に付き準備調査を爲し、本調査に於ては、調査員調査票を蒐集審査し、更に指導員之を再審査して不備の點を整調し、然る後集計し、其の完璧を期した次第である。

(五) 調査事項

- 1、商號又は名稱。代表者又は業主。
- 2、企業組織。
個人經營、合名會社、合資會社、株式會社、株式合資會社、其の他の別を調べる。
- 3、業 態。
製造、加工、修理、販賣の別、而して之を本業とするや或は副業又は内職とするやを調べる。
- 4、事業開始年月。
- 5、資 本。
イ、固定資本 ロ、運轉資本 ハ、總資本

- 6. 分工場数。
 - イ、市内
 - ロ、其の他の内地
 - ハ、植民地
 - ニ、外国
- 7. 本工場所在地。
- 8. 原動機。
 - イ、電動機
 - ロ、蒸気機関
 - ハ、蒸気タービン
 - ニ、瓦斯機関
 - ホ、石油機関
 - ヘ、タービン水車
 - ト、ペルトン水車
 - チ、日本型水車
 - リ、其の他
- 9. 販賣及收入。
 - イ、販賣金額
 - ロ、工賃收入
 - ハ、其の他の營業收入
- 10. 販賣先。
- 11. 経費。
 - イ、原料及材料消費額
 - ロ、地代及場賃
 - ハ、燃料及動力費
 - ニ、賃銀及給料
 - ホ、租税及公課
 - ヘ、修繕費及償却費
 - ト、利子
 - チ、其他の経費
 - リ、経費總額
- 12. 従業員数。
 - イ、事務員
 - ロ、技術員
 - ハ、職工
 - ニ、徒弟
 - ホ、家族従業員
 - ヘ、其の他の従業員
- 13. 主要原料及材料取得系統。
- 14. 季節による繁閑（一年を四期に分つ）。
 - イ、平均一日使用職工数
 - ロ、平均一日勤務時間
 - ハ、休業日数
- 15. 金融（借入金）。
 - イ、銀行
 - ロ、信託会社
 - ハ、倉庫
 - ニ、信用組合
 - ホ、工業組合
 - ヘ、原料材料商問屋卸商
 - ト、保険会社
 - チ、無盡
 - リ、質屋
 - ス、個人
 - ル、其の他
 - ヲ、借入總額
- 16. 敷地及建物。
 - イ、敷地坪数
 - ロ、建物坪数

總 說

(一) 工場及職場

1. 總 說

昭和八年七月一日現在に依り、本市が商工省の委嘱に依つて施行した工業調査の結果によれば、本市の工場及職場の總数は9,313である。此の数は昭和8年末の事實に據つた調査の對象總数であるから、昭和八年に入つて新に開業したものは除外されてゐる。従つて以下本書に於て説明の對象となるものも前記9,313の總数であつて、之を検討することによつて本市工業の大體を知り得る譯である。

2. 工場及職場の分布

本市中央部は固より港部の主要地域であるから、店舗、オフィス等並列し、所謂ビジネスセンターを成してゐるが、工業が此の中央部を發祥地とし且隆盛を極めたのであるから、商業と相並んで中央部に於て5,783で、全市の62%を占めてゐる。そして隣接地に在つては稍々大規模な工場多く、埋立地を主とし、2,797であつて、全市の30%となり、兩端部に至つては大體が住宅地區であるだけに激減し、其の數も733全市の8%にすぎない。

更に之を行政区別に觀れば次表の如くである。

區	工場及職場數	割合 (%)
總數	9,313	100.0
中區	5,783	62.1
神奈川區	1,868	20.0
鶴見區	929	10.0
保土ヶ谷區	387	4.2
磯子區	346	3.7

以上に示すが如く、本市の工場は中區に最も多く存在するが、これは比較的小工場であつて、神奈川區、鶴見區には大工場が多い。此の兩區は將來大工場地區として發展すべく、本市工業の中心地となるであらう。

3. 各區業態別

業態とは、製造販賣業、製造加工修理及販賣業、及加工及修理業の三種別である。

先づ製造販賣業に於て觀るに、總数は2,471で、副業としての10ヶ所を除いて凡て専業である。中區が第1位で、神奈川、鶴見兩區を合しても中區には及ばない。保土ヶ谷、磯子の兩區は大體同數で、住宅地區としての意義を有する兩區に於ては當然少數である。然し中區に於ては最早發展の餘地乏しく、今後には製造販賣業を本業とする工場が鶴見、神奈川に建設せられ、中區を凌ぐに至るであらう。

次に製造加工修理及販賣業に於て觀るに、中區が2,457で第1位である。之は中區に於ては大工場建設の餘地なく、比較的小規模な工場を以て足る製造加工修理業が盛となつたものである。保土ヶ谷區に至つては極めて少數である。

更に加工及修理業に於て觀るに、之も亦中區が第1位で1,990あり、凡ての事情に於て有利な中區として當然の數字であらう。他は特に説明を要すべきものがない。

之を要するに、何れの業態も中區に最も多く、神奈川區之に次ぎ、鶴見區が第3位である。

詳細は次表を参照せられたい。

各區業態別

區 別	製造販賣業		製造加工修理及販賣業		加工及修理業		合計	割合 %
	本業	副業	本業	副業	本業	副業		
總數	2,471	10	3,288	56	3,481	7	9,313	100.0
中區	1,328	8	2,427	30	1,988	2	5,783	62.1
神奈川區	611	1	448	11	794	3	1,868	20.0
鶴見區	283	1	221	5	418	1	929	10.0
保土ヶ谷區	129	—	78	2	178	—	387	4.2
磯子區	120	—	114	8	103	1	346	3.7

4. 各區組織別

各區に散在する工場及職場を經營組織別に、觀察するに、總数9,313の中、個人組織に依るものは9,016で96.8%あり、會社組織に依るものは僅かに3.2%にすぎない。

先づ個人組織に於て觀るに、其の62.6%に當る5,640が中區で斷然優勢を示してゐる。

之に次いで、神奈川區が1,775で19.7%、鶴見區が887で9.8%、保土ヶ谷、磯子の兩區は各々約4%にすぎない。

而して此の個人組織を各區別職場數に比較して見ると、中區は其の97.7%に當り、神奈川區は95.2%、鶴見區は95.5%、保土ヶ谷、磯子兩區は各々約97%に當つて居り、比率の上からは各區殆んど同等の個人組織による職場數が存在するのである。

最後に其の他の工業は諸々の小工場相よつてゐるので、資本金も8,008,571円で全市の3.6%を占めてゐるが、工場数が多いから一工場當りは2,772円の少額である。

要するに産業別に資本金を觀ることによつて本市の主要工業が知られる譯である。

産業種別資本金

Table with 6 columns: 工場數, 固定資本, 運轉資本, 資本總額, 一工場當リ. Rows include categories like 紡織工業, 金屬工業, 機械器具工業, etc.

(三) 原 動 機

1. 總 說

原動機は人間に於ける心臓の如く工場に於ける心臓であつて、原動機の大小多少は工場の活動力を判断する一の材料である。本市の工場調査に現はれた工場數9,313の所有する原動機數は9,983臺、馬力數に於て147,694馬力餘である。

各 區 別 原 動 機

Table with 7 columns: 中 區, 神 奈 川 區, 鶴 見 區, 保 土 ヶ 谷 區, 磯 子 區, 總 數. Rows include 總數, 操業中, 休止豫備 categories with sub-rows for 臺數, 一工場當, 馬力數.

2. 組 織 別

原動機を組織別に觀るに、總數に於て最も多きは株式會社の6,279臺にして、62.9%に當り、馬力數に於ては、殆ど全部といふ大部を占めて居る。即ち138,935馬力で總數の94.1%を占め、一工場當に於ては71臺の1,561馬力の多數に及んで居る。

組 織 別 原 動 機

Table with 13 columns: 操業中 (臺數, 一工場當, 馬力數), 休止豫備 (臺數, 一工場當, 馬力數), 總數 (臺數, 一工場當, 馬力數). Rows include 總數, 個人, 合名會社, 合資會社, 株式會社, 其他.

第3位は機械器具工業の31,316臺21%であり、臺數に於て第1位、馬力數に於ては休業中の電氣業を除けば第2位となるから、原動機使用の全體から觀れば第1位ともいふべきである。

第4位は金屬工業にして、22,896馬力15.5%であつて、臺數に於ても第4位である。次は食品工業の9,900馬力6.7%であつて、臺數に於ては第2位にあるから、1臺の馬力數は金屬工業等に比し極めて小なるものなることが知られる。

紡織工業は第6位であつて4,184馬力2.8%、製材及木製品工業の2,377馬力1.6%、窯業の1,920馬力1.3%、及其他工業の1,958馬力の1.3%、印刷及製本業の218馬力0.2%が最も小である。殊に印刷及製本業に於ては206臺にして、218.50馬力であるから1臺の馬力は僅かに1馬力程度のものである。

更に一工場當りより馬力數を觀るに、最も多きは瓦斯及電氣業の32,800馬力であるが、これは既述の如く6臺全部が東京電燈株式会社の火力變電用原動機であつて、休止して居るから、之を除き他の業種に付き觀れば、化學工業の274.8馬力であつて、化學工業の原動機の大馬力のものを使用することの多きを知られる。

それ以下のものは化學工業に比し甚だしき差を示し、金屬工業の69.6馬力を大なるものとして、32.0馬力の窯業、機械器具工業の25.9、紡織工業の4.8、食品工業の3.8、製材及木製品工業の2.4馬力等の如く、何れも極めて小さき馬力數である。

産業種別原動機

Table with 7 columns: 工場數, 操業中 (臺數, 馬力數), 休止及豫備 (臺數, 馬力數), 合計 (臺數, 馬力數), 一工場當り (馬力). Rows include 總數, 紡織工業, 金屬工業, 機械器具工業, 窯業, 化學工業, 製材及木製品工業, 印刷及製本業, 食品工業, 瓦斯及電氣業, 其他工業.

(四) 従業員

1. 組織別

従業員とは、事務員、技術員、職工、徒弟、家族従業員、其の他の従業員（掃除夫、守衛、賄方、給仕、小使、大工、左官等）をいふのである。

従業員の總數は52,146人であつて、その78.7%に當る41,045人が男で、21.3%に當る11,101人が女である。一工場當りは男は4.4人、女は1.2人となり、總數では5.6人となるのである。

先づこの従業員を組織別に觀るに、個人組織に屬するものは28,876人で全市の55.4%に當つてゐて、一工場當りは3.2人となり、男は22,890人、女は5,986人で男100人に對し女は26.1人の割合である。最多數を占むるものは家族従業員であつて、男10,544人、女3,733人、計14,277人となる。即ち個人組織に在つては比較的経費のかゝらない家族を従業員として職工その他の代用に供するのである。

職工は男5,291人、女1,298人、計6,589人で、全市職工の26.8%を占め、男100人に對し女は24.5人である。徒弟なるものも殆んど個人組織特有のものであつて、全市徒弟數の93.6%に當る6,206人を占めてゐる。家族従業員と同様経費の誇大なることを防いでゐる。

次に法人に於ては23,270人の従業員を有し、男18,155人、女は5,115人で、男100人に對し女は28.1人となつてゐる。此の法人組織に於て最も多數の従業員を占めるのは株式会社である。即ち全市の38.9%に當る20,299人を有し、一工場當りは實に228.1人の多きに上つてゐる。男は15,724人、女は4,575人で、男100人に對し女は29.1人の割合である。職工は男11,883人、女は4,339人で、計16,222人となり、男100人に對し女は36.8人である。而して一工場當りも182.3人となり、大工場であることが頷かれる。

合資会社に在つては従業員數1,982人で、男は1,677人、女は305人であり、合名会社に至つては更に少く、男593人、女152人、計745人となり、株式会社とは比較にならない。即ち合資、合名なる形態に在つては企業そのものよりも、窮乏の状態を一時糊塗せんとする手段として用ひらるゝ場合が多いため、營業状態に於ても個人組織と大差なく、法人組織として論ずるのは餘りにも形式に提はれすぎた感がある。要するに株式会社を以て法人の代表的なものとし、合資、合名はむしろ個人組織と同様に觀て差支へないであらう。事實は次表によつて知られたい。

組織別従業員

Table with columns for 組織別 (事務所, 技術員, 職工, 徒弟, 家族従業員, 其他従業員), 合計, 一工場當り. Sub-columns for 男, 女 and 實數, % are provided for each category.

2. 業態別

従業員を業態別に觀るときは、製造業が最も多數を占めて、全市の59.2%に當る30,862人を有し、一工場當りは12.4人となつてゐる。男は23,789人、女は7,073人で、男100人に對し女は29.7人である。職工が多く19,937人で男は14,769人、女は5,168人を示し、男100人に對し女は35人となる。何れの點より觀るも業態別に在つては常に製造業が斷然他を壓してゐる。繰返し云ふ如く、株式会社の大部分が製造業に屬するからである。次には家族従業員で4,289人を占め、男は2,854人、女は1,435人で、男100人に對し、女は50人の割合である。全市總數に於ても職工に次いで多數を占むる家族従業員であるから、製造業に於ても此の程度を含まざるは當然である。事務員技術員は共に他の業態の及ばない數を占めてゐる。

次に加工修理業に於ては全市の23.2%に當る12,125人を占め一工場當りは3.6人となつてゐる。男は9,654人、女は2,471人で、男100人に對し女は25.7人である。職工は3,390人で男は2,724人、女は666人を示し男100人に對し女は24.6人となる。家族従業員は4,870人を占め職工よりも多く、男は3,736人、女は1,134人で、男100人に對し女は30.6人の割合である。比較的容易に經營出来る加工修理業に於て家族従業員が多いことは頷ける現象である。事務員、技術員共に製造業に次いでゐるが數に於ては少くとなつてゐる。

最後に混合業態に在つては従業員數9,051人を占め全市の17.4に當つてゐる。男は7,559人、女は1,492人で、男100人に對し女は19.9人となる。職工は1,205人で一番少なく、男は1,013人、女は192人を示し、男100人に對し女は19.2人である。

家族従業員は三者中最も多數を占め5,263人で男は4,087人女は1,176人を示し、男100人に對し女28.7人となつてゐる。加工修理業より

も更に経費を切りつめてゐる。事務員、技術員に至つては最も少ない。
副業は何れに在つても極めて少数であるから説明は省く。

業 態 別 従 業 員

Table showing employment by industry type (Total, Manufacturing, Construction, Repairing, etc.) with columns for staff, technicians, workers, apprentices, family members, and others.

3. 資 本 階 級 別

従業員を資本階級別に観察するに、一々の階級に付いて詳論すること繁雑にすぎるからは、大中小工業の分類に従つて説明する。
先づ小工業に於ては、21,460人の従業員を有し、全市の41.1%を占めてゐて、一工場當りは2.6人である。男は16,783人、女は4,677人で、男100人に對し女27.8人の割合である。最も多數を占めてゐるのは家族従業員であつて、男9,675人、女3,473人計13,148人で、61.2%を占めてゐる。男100人に對し女は35.8人である。實に全市家族従業員の90.6%を占めてゐる。
次は徒弟が多く5,424人で、男は4331人女は1,093人であり、全市徒弟の81.8%に當つてゐる。
職工は全市職工数の10.7%に當る2,647人を有し、男は2,192人、女は455人となつてゐる。
技術員、事務員に至つては、誠に少ないものである。中工業に於ては、11,703人で全市の22.4%を占め一工場當りは12.2人である。男は9,583人、女は2,120人で、男100人に對し女は22.1人の割合となる。之に於ては職工斷然多く、全市職工数の26.8%に當る6,594人を有し、男5,116人、女1,478人で、男100人に對し女は28.8人である。次いで徒弟多く、1,742人で全市徒弟数の17.2%を占め、男は1,624人、女は118人である。家族従業員は全市の9.4%に當る1,358人を占め、男は1,037人女は321人である。而して事務員も832人で全市の39.6%を占め、技術員も全市の19.9%に當る371人を有してゐる。
大工業に在つては全市従業員数の36.5%に當る18,983人を有し、一工場當りは實に474.6人の多數を示し、男14,674人、女4,304人で、男100人に對し女20.9人の割合である。最も多數を占むるのは職工であつて、全市職工数の62.5%に當る15,294人を有し、男11,201人女4,093人で、男100人に對し、女は36.5人となる。次いで技術員多く1,437人で全市の77.2%に當り、その中女は僅かに37人である。事務員は1,191人で之に次ぎ全市の57%に當り、男1,089人女102人となつてゐる。徒弟に至つては僅かに69人で、家族従業員は絶無である。
要するに中小工業に於ては、既に諸所に於て述べた如く、經營策の上から家族従業員並に徒弟が多く、大工業に至つては優秀品を大量生産することを主眼とすることから、職工並に技術員多く、兩者の有する各特徴を如實に示してゐる。詳しくは次の二表を参照されたい。

資 本 階 級 別 従 業 員 (1)

Table showing capital class by industry type (Total, Small, Medium, Large) with columns for total count, staff, technicians, workers, apprentices, family members, and others.

資 本 階 級 別 従 業 員 (2)

Table showing capital class by industry type (Total, 100+ unmet, 100+ above, 500+ above, 1000+ above, 2000+ above, 5000+ above, 10000+ above, 50000+ above, 100000+ above, 500000+ above, 1000000+ above, 5000000+) with columns for staff, technicians, workers, apprentices, family members, and others.

産業種別生産額

Table with 6 columns: Industry Name, Number of Factories, Self-manufactured/Commissioned Production, Production of Repair/Processing, Total, and Per Factory Average. Rows include various industries like Textiles, Machinery, Chemicals, etc.

(六) 収入及支出

1. 總説

緒言の項に於て既に一言した如く、収入として調査したものは、販賣金額、受託生産加工及修理工賃収入並にその他の營業収入にして、本市に於ける此等収入總額は204,819,113圓を示し、販賣金額は190,171,755圓にして實に92.9%を占めて居る。

支出として調査したものは原料及材料費、地代及場賃、燃料及動力費、賃銀及給料、租税及公課、修繕費及償却費、利子並にその他の營業費であるが、就中重要と目せらるゝものは原料及材料費、燃料及動力費、並に賃銀及給料なるが故に、主として之に付いて概観することとする。

總支出額172,714,919圓の中、原料及材料費が最高を占め、121,200,509圓にして70.2%に當つて居る。燃料及動力費は5,696,448圓にして3.3%にすぎず、賃銀及給料は21,910,970圓にして12.7%を占めて居る。

以上に依つて見れば本市に於ける總収入204,819,113圓、總支出172,714,919圓、差引32,104,194圓の純益金を擧げてゐることとなり、之を一工場平均にすれば3,447圓の純益となる。

2. 組織別

収入、總収入額204,819,113圓を組織別に概観するに、個人組織に於ては、収入總額41,790,433圓にして總収入額の20.4%を占め、販賣金額は32,732,160圓—78.3%、加工賃は8,487,326圓—20.3%を示し、その他の營業収入は僅かに570,947圓—1.4%にすぎない。

合名會社に於ては、収入總額2,878,037圓にして、全市の1.4%にすぎないが、工場數の少い割合には生産額多いため、一工場當りは63,956圓となつて居る。販賣額は2,537,681圓—87.5%、加工賃は335,435圓—11.7%を占め、その他の營業収入は僅かに4,921圓—0.8%である。

合資會社に於ては収入總額6,767,526圓にして全市の3.3%に當り、販賣金額は5,954,534圓—88.0%、加工賃は759,196圓—11.2%、その他の収入は53,796圓—0.8%を示し、一工場平均は44,232圓となつて居る。

株式會社に在つては収入總額實に151,576,134圓にして、全市の74.0%を占め、一工場當りは1,703,103圓の多きに達して居る。販賣金額が大部分を占め、147,192,154圓にして、全市販賣總額の77.5%に當り、加工賃は3,091,868圓—2.0%、その他の収入は1,292,112圓—0.9%を占めて居る。

其の他に在つては、収入總額1,806,983圓に減少し、全市の僅かに0.9%にすぎず、一工場當りは180,698圓となり、販賣金額は1,755,226圓—97.2%、加工賃は50,883圓—2.8%、その他の収入は僅かに874圓を占めて居る。

即ち株式會社は斷然他を壓し、工場生産額中頭角を現し、個人之に次ぎ、合資會社、合名會社、其の他の順序となつて居り、加工賃収入に於て、個人が株式會社に勝つてゐるのも注目にする。

支出、總支出額172,714,919圓を組織別に觀るに、個人組織に於ては支出總額35,947,441圓にして全市の20.8%を占め一工場平均支出は3,987圓となり、原料及材料費は25,324,719圓—70.4%にして大部分を占め、燃料及動力費は僅かに1,141,574圓—3.2%、賃銀及給料は4,941,404圓—13.7%となつて居る。

合名會社に在つては、支出總額2,532,750圓にして全市の僅かに1.5%に當り、一工場平均は56,283圓となり、原料及材料費は1,788,332圓—70.6%を占め、燃料及動力費は僅かに87,193圓—3.4%にすぎず、賃銀及給料は421,957圓—16.7%である。

合資會社に於ては支出總額6,371,136圓にして全市の3.7%を占め、一工場平均は41,641圓となり、原料及材料費は4,662,674圓—73.2%にして、燃料及動力費は140,149圓—2.2%、賃銀及給料は871,723圓—13.7%となつて居る。

株式會社に在つては巨額を示し、支出總額126,025,090圓にして、全市の73.0%を占め、一工場平均は1,416,012圓となり、原料及材料費は87,931,241圓—69.8%、燃料及動力費は4,303,880圓—3.4%、賃銀及給料は15,558,186圓—12.4%になつて居る。

其の他に在つては極めて少く、支出總額1,838,502圓にして全市の僅かに1.0%に當り、原料及材料費は1,493,543圓—81.2%、燃料及動力費は23,652圓—1.3%、賃銀及給料は117,700圓—6.4%となつて居る。

即ち支出に於ても株式會社が斷然頭角を現はし、何れの項目に在つても第一位を占め、個人が之に次いで居る。

以上に依つて觀るに、個人組織に於ては、純益5,842,992圓にして、一工場當りは648圓となり、合名會社に於ては、純益345,287圓にして一工場當りは7,673圓となり、合資會社に在つては、純益396,390圓にして一工場當りは2,591圓となり、株式會社に在つては、純益25,551,044圓にして一工場當りは287,090圓となり、其の他に於ては純益なく、31,519圓の純損にして、一工場當り3,152圓となつて居る。

更に収入100圓に對する支出額を觀るに、個人は86圓02錢、合名會社は88圓、合資會社は94圓14錢、株式會社は83圓13錢、其の他は101圓74錢を示し、之を平均にすれば90圓61錢となるのである。

組織別収入

Table with 6 columns: Organization Type, Sales Amount, Production/Repair Income, Other Business Income, Total Income, and Per Factory Average. Rows include Total, Individual, Partnerships, Corporations, and Others.

組 織 別 支 出

Table with 10 columns: 原料及材料, 燃料及動力費, 賃銀及給料, 其他ノ營業費, 支出總額, 一工場平均支出, 純益, 一工場平均純益, 收入100圓=付キ支出. Rows include 總, 個人, 合名會社, 合資會社, 株式會社, 其他.

3. 業 態 別

收入、總收入額204,819,113圓を業態別に觀察するに、製造本業に於ては收入總額174,289,088圓にして、全市の85.1%を占め、一工場當りは實に70,252圓となり、販賣金額は170,498,265圓—97.8%、加工賃は2,379,523圓—1.4%、其の他は1,411,300圓—0.8%となつて居る。

更に加工修理本業に至つては、收入總額12,592,465圓にして、全市の6.2%にすぎず、一工場當りは3,769圓となり、販賣金額は3,880,861圓—30.8%、加工賃は8,627,713圓—68.5%、其の他は僅かに83,891圓—0.7%となつて居る。

副業は何れに於ても極めて少額で論ずるに足らない。

以上によれば、製造本業が盛にして、販賣金額に於ては全市の89.6%を占め、加工修理業に於ては加工賃収入が他に勝つて居ること等は夫々の業態が有する特徴を表現して居るといふことを得やう。

支出、總支出額を業態別に觀るに、製造本業に於ては支出總額147,840,884圓にして全市の85.6%を占め、一工場平均支出は59,592圓となり、原料及材料費は104,031,946圓—70.3%、燃料及動力費は5,055,598圓—3.4%、賃銀及給料は17,905,778圓—12.1%といふ割合になつて居る。

混合本業に在つては、支出總額15,672,868圓にして全市の9.1%に當り、一工場平均支出は4,494圓となり、原料及材料費は12,644,690圓—80.7%、燃料及動力費は223,232圓—1.4%、賃銀及給料は1,262,595圓—8.1%を占めて居る。

加工修理本業に於ては、支出總額9,185,659圓にして、全市の僅かに5.3%にすぎず、一工場平均支出は2,749圓となり、原料及材料費は4,515,090圓—49.1%、燃料及動力費は417,169圓—4.6%、賃銀及給料は2,741,893圓—29.8%となつて居る。

即ち支出に於ても製造本業斷然他を壓し、何れの業態に在つても、原料及材料費が多額にして、賃銀及給料之に次ぎ、燃料及動力費は第3位に在る。

以上を概括すれば、製造本業に於ては純益26,448,204圓にして、一工場平均純益は10,703圓となり、混合本業に在つては純益2,242,717圓にして一工場平均は644圓となり、加工修理本業に在つては、純益3,406,806圓にして一工場平均は1,036圓となつて居る。即ち製造本業に在つては大資本を有し、多數の従業員を使用して大量生産を行ふ結果収入實に多く、又、それなるが故に支出も多くなつて居るのである。

更に收入100圓に對する支出額を觀るに、製造本業は85圓、混合本業は87圓、加工修理本業は73圓といふ割合になつてゐる。

業 態 別 收 入

Table with 5 columns: 販賣金額, 受託生産加工及修理工賃収入, 其他ノ營業收入, 收入總額, 一工場平均. Rows include 總, 製造 (本業, 副業), 製造加工修理 (本業, 副業), 加工修理 (本業, 副業).

業 態 別 支 出

Table with 10 columns: 原料及材料費, 燃料及動力費, 賃銀及給料, 其他ノ營業費, 支出總額, 一工場平均支出, 純益, 一工場平均純益, 收入100圓=付キ支出. Rows include 總, 製造 (本業, 副業), 製造加工修理 (本業, 副業), 加工修理 (本業, 副業).

4. 資 本 階 級 別

收入、總收入額204,819,113圓を大中小工業の分類に従つて概観するに、先づ小工業に在つては收入總額19,624,340圓にして、全市の9.6%に當り、一工場當りは2,360圓となり、販賣金額は14,045,645圓—71.6%、加工賃は5,353,914圓—27.3%、其の他は224,781圓—1.1%になつて居る。

中工業に在つては收入總額40,634,063圓にして、全市の19.8%に當り、一工場當りは42,504圓となり、販賣金額は34,785,089圓—85.6%、加工賃は5,364,759圓—13.2%、其の他は1.2%を占めて居る。

大工業に至つては斷然多額を示し、收入總額144,560,710圓にして、全市の70.6%に當り、一工場當りも實に3,614,018圓の多額に上り、販賣金額は141,341,021圓—97.7%、加工賃は2,006,035圓—1.4%、其の他は1,213,654圓—0.9%となつて居る。

即ち資本額の大なるにつれて、之と正比例して収入額も増大することがよく知られる。

支出、總支出額172,714,919圓を資本階級別に觀るに、小工業に在つては支出總額16,242,743圓にして、全市の9.4%に當り、一工場平均支出は1,953圓となり、原料及材料費は11,251,780圓—69.3%、燃料及動力費は557,196圓—3.4%、賃銀及給料は1,945,460圓—12.0%を占めて居る。

(七) 借 入 金

1. 組 織 別

工場及職場3,313の有する借入総額は50,568,284円で、一工場平均5,430圓に當り、負債率は22.9%の割合を占めて居る。借入先としては銀行、問屋、卸商、個人が重要なものであつて、銀行よりは38,534,213圓を借入れ総額の76.3%を占めてゐる。即ち大工場が多額の借入を銀行に求めてゐるのである。問屋卸商は総額の2.5%に當る1,260,926圓、個人からは668,638圓を借入れて居る。

先づ借入金を組織別に観るに、個人は3,142,046圓で、全市の6.2%を占めて居る。一工場當りは348圓である。銀行よりは951,369圓を借入れ、個人よりは469,978圓を借入れて居る。

株式会社に次いで多額の借入金を有してゐるのである。

合名会社に於ては323,505圓で、全市の僅かに0.6%にすぎないが、一工場當りは7,189圓となつて居る。之に於ては個人よりの借入多く94,900圓で、之に次いで銀行が85,481圓を占め、問屋卸商からは47,876圓を借入れて居る。

合資会社に在つては、全市の1.6%に當る820,561圓の借入金を有し、一工場當りは5,363圓になる。銀行よりの借入多く207,992圓を占め、問屋卸商之に次いで161,532圓を示し、個人からは81,962圓を借入れて居る。

株式会社は最も多額の借入金を有し、46,193,283圓で全市の實に91.4%を占めてゐる。一工場當りも519,026圓を示し断然他を壓して居る。即ち企業組織が大であるだけに諸種の経費も大となり、借入金も多額を示してゐるのである。銀行よりの借入多く37,287,371圓で、問屋卸商之に次いで421,921圓を占め、個人よりは僅かに14,198圓を借入れてゐるにすぎない。

其の他に至つては最も少なく、88,889圓で全市の僅かに0.2%に當り、一工場當りは8,889圓となり、銀行よりは僅かに2,000圓にすぎず、問屋、卸商より43,289圓、個人よりは7,600圓を借入れてゐる。

組 織 別 収 入

Table with columns: 銀行, 問屋卸商, 個人金融, 其ノ他, 借入総額, 一工場當リ. Rows include total, individual, company types, and other categories with numerical data and percentages.

2. 業 態 別

借入金を業態別に観察すれば、凡ゆる方面に於て断然他を抜いてゐる製造本業は借入金に於ても、全市の95.4%を占め、48,222,078圓を示してゐる。一工場當りは19,437圓となり、他の業態は之に比すべくもない。銀行よりの借入多く、37,911,711圓で、問屋、卸商からは789,155圓を借入れ、個人は僅かに290,147圓にすぎない。

次いで混合本業が1,192,244圓で全市の2.3%に當り、一工場當りは僅かに342圓である。

借入金の少ないことは望ましいことではあるが、現在のやうな所謂不景氣な時代に在つては多少の借入金は至し方ない。

加工修理本業に在つては1,152,462圓を占め全市の2.3%に當つてゐる。一工場當りは345圓となり、銀行よりは313,759圓を借入れ、個人組織が多いから個人金融が200,947圓を占めてゐる。問屋、卸商からは200,947圓にすぎない。

要するに事業を大規模に經營してゐる製造本業が借入金の大部分を占め、混合本業並に加工修理本業は一部加入にすぎないのである。副業に在つては製造副業が個人から1,500圓を借入れてゐるのみである。

業 態 別 借 入 金

Table with columns: 銀行, 問屋卸商, 個人金融, 其ノ他, 借入総額, 一工場當リ. Rows include total, manufacturing, mixed, and other categories with numerical data and percentages.

3. 資 本 階 級 別

借入金を資本階級別に観察するに、細目は成表に譲り、大分類に従つて説明すれば、先づ小工業に於ては全市の僅かに2.7%に當り1,343,398圓の借入にすぎず、一工場當りは162圓となり負債率は16.1%となつて居る。問屋、卸商よりの借入が多く、285,387圓で借入額の21.3%を占めて居る。個人よりの借入が278,600圓で之に次ぎ借入額の20.7%に當つて居る。銀行よりの借入は168,393圓と下り12.5%にすぎない。即ち小工業に於ては、個人組織が多いため、銀行との取引は割合に少く、問屋、卸商並に個人よりの借入金が大半を占めてゐるのである。

中工業に於ては前者の三倍強に當る4,275,138圓を有し、全市の8.4%を占め、一工場當りは4,472圓となり、負債率は14.6%になつて居る。之に於ては銀行との取引多く、借入額の41.2%に當る1,760,424圓を占め、次いで問屋卸商が多く、655,037圓で15.5%に當り、個人からは僅に390,038圓を占めて、借入額の9.1%に當つてゐる。

即ち資本金が大きくなるにつれて借入金も大となるが、それ従つて、借入先の變化が注目し値する。

大工業に至つては断然多く、全市の88.9%を占め44,949,748圓で一工場當りは1,123,744圓となり、負債率は24.5%になる。銀行よりの借入最も多く、36,605,396圓を占め借入額の81.4%に當つてゐる。問屋、卸商よりは僅かに320,502圓で0.7%にすぎない。個人よりの借入は皆無で、即ち資本金500,000圓以上の工場に在つては全然個人よりの融資が見られない。

以上で大體の説明は終へたが、先づ組織別に見た場合に、個人組織に於ては銀行よりの借入少なく、大資本を有する株式会社も個人より借入れてゐることが研究を要すべき問題である。

更に、小工業に在つては、個人就中縁故關係先より借入れ、問屋、卸商よりの借入も多く、極小工業者に在つては質屋を利用するものもあり、金融上如何に不利な地位に置かれてゐるか知られる。中工業に在つては銀行等を利用することが比較的多いが、尙個人金融業者に頼る所多く、巨大なる資本を有する大工業に在つては銀行よりの借入金最も多く、個人よりの金融絶無となり、實に有利なる金融を受けて居る。

近時中小工業者の救済の必要叫ばれつゝあるも未だ具體的對策樹立せられず、依然として金融難に喘いでゐる。中小工業の保護助成は云ふまでもなく、金融難に苦しんでゐる業者の金融對策であらうことは、以上の數字によつて知られるところである。

資 本 階 級 別 借 入 金 (1)

Table with columns: 工場数, 銀行, 問屋卸商, 個人金融, 其ノ他, 借入総額, 一工場當リ, 負債率. Rows include total, small industry, middle industry, and large industry with numerical data and percentages.

資本階級別借入金 (2)

Table with columns: 銀行, 問屋卸商, 個人金融, 共ノ他, 借入総額, 一工場當リ, 負債率. Rows include total figures and various loan amount ranges from 100円未満 to 5,000,000円以上.

4. 産業種別

借入金を産業別に観察するに、第1位は金属工業で23,359,884回、第2位は機械器具工業で17,210,486回、第3位は化学工業で4,808,368回以下食品工業が1,569,488回、繊維工業が571,052回、窯業が416,545回、製材及木製品工業が361,113回、印刷及製本業が156,164回の順序である。

一工場當りに付いて見れば金属工業が71,003回で第1位を占め、化学工業が32,934回で第2位、以下機械器具工業が14,247回、窯業が6,942回、繊維工業が654回、印刷及製本業が615回、食品工業が608回、製材及木製品工業が371回の順となつて居る。

銀行よりの借入総額は38,534,213回で、第1位に在るのは金属工業の20,538,809回である。銀行借入額の53.3%を占める機械器具工業が11,649,216回で之に次ぎ30.2%を占め、以下化学工業の4,334,350回—11.3%、食品工業の643,257回—1.7%、繊維工業の237,690回—0.6%、窯業の202,500回—0.5%、製材及木製品工業の56,723回—0.2%、印刷及製本業の46,356回—0.1%の順序となつてゐる。

個人よりの借入は668,638回で、第1位は食品工業の207,643回—31.0%、次いで繊維工業の98,622回—14.8%、機械器具工業の82,823回—12.4%、製材及木製品工業の75,415回—11.3%、印刷及製本業の44,940回—6.7%、化学工業の20,981回—3.1%、金属工業の16,540回—2.5%、窯業の5,305回—0.8%の順序となるのである。

問屋、卸商からの借入は1,260,926回で、第1位を占むるのは化学工業の291,507回—23.1%、第2位は食品工業の213,236回—16.9%、続いて、機械器具工業の118,444回—9.4%、繊維工業の121,097回—9.6%、製材及木製品工業の95,482回—7.6%、窯業の47,355回—3.8%、金属工業の38,678回—3.1%、印刷及製本業の15,003回—1.2%の順である。

以上は極めて大要であるが、之によつても、本市に於ける主要工業が大いに銀行を利用し、最も有利な金融條件に恵まれて居るに反し、最も不利な條件の下に苦難を味ふ中小工業が銀行等を利用し得ざる事情を窺ひ知られるのである。

産業種別借入金

Table with columns: 工場数, 銀行, 問屋卸商, 個人金融, 共ノ他, 借入総額, 一工場當リ. Rows list various industries such as 紡織工業, 金属工業, 機械器具工業, 窯業, 化学工業, 製材及木製品工業, 印刷及製本業, 食品工業, 瓦斯及電気業, and 其他ノ工業.



統計表

記入の注意

1. 昭和七年一月一日より昭和七年十二月三十一日迄の生産高若しくは工賃の総額を下記品目別に御記入下さい。
2. 自家生産又は委託生産は生産高の欄に、受託生産又は修理は工賃の欄に夫々御記入下さい。
3. 生産高は工場若しくは農場渡航段を、在庫額は期末時価で見積つたものを御記入下さい。
4. 記入欄には数量、單位例へば箇、疋、反、米等が記入してある品目に就ては其數量を御記入下さい。
5. 法人は最近の事業年度によつて御記入下さい。

生産分類	生産高	工賃	在庫高	生産分類	生産高	工賃	在庫高	生産分類	生産高	工賃	在庫高
1. 生 産 分 類				57. 建 具 及 家 具 類				117. 金 車			
2. 玉 器 類				58. 建 築、修 理、機 械 材 料				118. 瓦 斯 器 具			178. 製 餅
3. 其 他 の 産 物				59. 金 屬 器 具 類				119. 水 道 器 具			179. 木 製
4. 綿 織 物				60. 其 他 の 織 物				120. ガラス及コンクリート			180. コ
5. 絹 織 物				61. 亜 鉛 鍍 金 製 品				121. 鋼 車、平 車、脚 車			181. 其
6. 麻 織 物				62. 其 他 の 鍍 金 製 品				122. 其 他 の 車 輛 器 具			182. 印
7. 毛 織 物				63. 蒸 汽 機 同 部 分 品				123. 陶 器			183. 製
8. 綿 織 物				64. 瓦 斯 發 生 裝 置				124. 電 機 器 具			184. 和
9. 絹 織 物				65. 蒸 汽 機 同 部 分 品				125. 煉 瓦 及 附 火 物			185. 製
10. 其 他 の 産 物				66. 内 燃 機				126. 屋 根 瓦			186. 洋
11. 綿 織 物 廣 巾 物				67. 水 車				127. セメント製品			187. 機
				68. 質 卸 機 部 分 品 及 附 屬				128. セメント製品			188. 機
				69. 電 氣 機 械 器 具				129. 石 灰			189. 器
				70. 絶 緣 電 線 及 電 線				130. 珪 酸 鐵 器 具			190. ソ
				71. 通 信 機 械 器 具				131. 其 他 の 機 械 器 具			191. 製
				72. 電 池				132. 陶 磁 器 具			192. 機
				73. 農 業 用 機 械 器 具				133. 醫 藥 製 劑 及 器 具			193. 紗
				74. 土 機 械 器 具				134. 磁 器			194. 製
				75. 採 炭 機 械 器 具				135. 鹽 器			195. 機
				76. 採 煤 機 械 器 具				136. 厨 師			196. 器

第一總數 (一) 總

Table with columns for 工場又ハ職場數, 資本金, 運轉資本, 資本總額, 原動機, 事務員, and 符號. Rows include categories like 紡織工業, 金屬工業, 機械器具工業, 窯業, and 化學工業.

數 (其ノ一)

Table with columns for 技術員, 職工, 徒, 家族従業員, 其他ノ従業員, 合計, 自製又ハ委託生産價格, and 受託生産加工及修理工賃額. Rows correspond to the categories in the first table.

(一) 總

Table with columns for 符號 (Symbol), 項目 (Item), 收入 (Income), 支出 (Expenditure), and 合計 (Total). It lists various industrial categories like 紡織工業 (Textile Industry) and 機械器具工業 (Machinery Industry).

數

(其ノ二)

Table with columns for 項目 (Item), 合計 (Total), 貸金及給料 (Loans and Materials), 租税及公課 (Taxes and Fees), 修繕費及賃借 (Maintenance and Leases), 利子 (Interest), 其他ノ營業費 (Other Business Expenses), 借入金 (Borrowing), 負債 (Liabilities), 總回 (Total Return), 因本 (Due to Capital), and 符號 (Symbol). It provides detailed financial data for various items.

(一) 總

Table with columns: 項目 (Item), 工場 (Factory), 資本 (Capital), 原動機 (Prime Mover), 事務員 (Staff). Rows include various industrial categories like 化粧品 (Cosmetics), 印刷製本 (Printing), 食品工業 (Food Industry), 瓦斯及電氣業 (Gas and Electrical Industry), 其他ノ工業 (Other Industries).

數

Table with columns: 技術員 (Technical Staff), 職員 (Officials), 工徒 (Workers), 家族従業員 (Family Employees), 其他ノ従業員 (Other Employees), 合計 (Total), 生産額 (Production Value), 受託生産加工及修理工賃額 (Contracted Production, Processing, and Repair Charges). Rows correspond to the categories in the first table.

(一) 總

Table with columns for '項目' (Item), '收入' (Income), and '支出' (Expenditure). It lists various manufacturing categories like '化學工業' (Chemical Industry), '食品工業' (Food Industry), and '紡織工業' (Textile Industry) with detailed financial data.

數

(其ノ四)

Table with columns for '借入金' (Borrowing), '貸金及給料' (Lending and Materials), '租税及公課' (Taxes and Fees), '修繕費及償却費' (Maintenance and Depreciation), '利子' (Interest), '其他ノ營業費' (Other Operating Expenses), and '経費總額' (Total Expenses). It provides a detailed breakdown of financial flows and costs.

(1) 本 業

Table with columns for '工場' (Factory), '資本' (Capital), '設備' (Equipment), and '人員' (Personnel). Rows include various industrial categories like '紡織業' (Textile Industry), '金属製品業' (Metal Products Industry), and '化学工業' (Chemical Industry).

總 數 (其ノ一)

Table with columns for '従業員数' (Number of Employees) and '生産額' (Production Amount). Rows are categorized by industry, matching the categories on page 10, and include sub-categories for '技術員' (Technicians), '職工' (Workers), etc.

Table showing financial data for '本業' (Main Business) with columns for '収入' (Income) and '支出' (Expenditure). It includes sub-categories like '製造業' (Manufacturing) and '建設業' (Construction) with detailed numerical data and percentages.

Table showing financial data for '總數' (Total) with columns for '出' (Output) and '借入金' (Borrowed Funds). It includes sub-categories like '製造業' (Manufacturing) and '建設業' (Construction) with detailed numerical data and percentages.

(イ) 本 業

Table with columns for '符 號', '項 目', '收 入', and '支 出'. It details financial data for various industries like 'E 化学工業', 'F 製材及木製品工業', 'G 印刷及製本業', etc., including amounts and percentages.

總 數

(其ノ四)

Table with columns for '符 號', '借入金', '負債', '總回', '資本', '定額', and '符 號'. It provides a summary of financial metrics across various categories, including amounts and percentages.

第二組織別總數

(一) 個人

Table with columns for industry sector (e.g., 紡織工業, 化學工業), fixed capital (固定資本), circulating capital (運轉資本), total capital (資本總額), and employment (雇員) including male and female counts.

總數

(其ノ一)

Table detailing employment statistics by industry sector, categorized by gender (male/female) and job type (technical staff, workers, family members, etc.).

(一) 個人

Table with columns for '項目' (Item), '収入' (Income), and '支出' (Expenditure). It lists various industrial categories like '紡織工業' (Textile Industry) and '機械器具製造業' (Machinery Manufacturing Industry) with their respective financial data.

總數

(其ノ二)

Table with columns for '項目' (Item), '支出' (Expenditure), and '借入金' (Borrowing). It provides a detailed breakdown of financial flows for various industrial sectors, including '電気料' (Electricity) and '燃料' (Fuel).

(一) 個 人

Table with columns for 工場 (Factory), 資本 (Capital), 原動機 (Machinery), 事務員 (Staff), and 生産額 (Production). Rows list various industries like 化粧品 (Cosmetics), 印刷 (Printing), 食料 (Food), etc.

總 數 (其ノ三)

Table with columns for 技術員 (Technicians), 職工 (Workers), 徒弟 (Apprentices), 家族従業員 (Family Employees), 其他従業員 (Other Employees), 合計 (Total), 自製又ハ委託生産額 (Self-produced or outsourced production), and 受託生産加工及修理工賃額 (Outsourced production, processing, and repair charges). Rows correspond to the same industries as the left page.

(一) 個人

Table with columns for '符號' (Symbol), '項目' (Item), '收入' (Income), and '支出' (Expenditure). It details financial data for various manufacturing and service sectors, including raw materials, labor, and energy costs.

總數

(其ノ四)

Table with columns for '借入金' (Borrowing), '貸付金' (Lending), '借入金' (Borrowing), and '貸付金' (Lending). It provides a summary of financial flows, including interest, dividends, and other payments, categorized by percentage and amount.

(イ) 個人

Table with columns for factory name, assets, and employees. Includes sub-sections like '紡織工業' (Textile Industry), '機械器具工業' (Machinery Industry), and '窯業' (Cement Industry).

本業

Table detailing employee statistics for the '本業' (Main Industry) sector, categorized by technical staff, workers, family members, etc., with columns for gender and count.

(1) 個人

Table with columns for 工場 (Factory), 資本金 (Capital), 運轉資本 (Operating Capital), 資本總額 (Total Capital), 原動機 (Prime Movers), 事務員 (Staff), and 生産額 (Production). Rows include various industries like 化粧品 (Cosmetics), 印刷 (Printing), 食品 (Food), and 電気 (Electricity).

本業

Table with columns for 従業員 (Employees), 技術員 (Technicians), 職工 (Workers), 徒弟 (Apprentices), 家族従業員 (Family Employees), 其他ノ従業員 (Other Employees), 合計 (Total), 自製又ハ委託生産額 (Self-produced or Commissioned Production), and 受託生産加工及修理工賃額 (Commissioned Production, Processing, and Repair Fees). Rows include various industries like 印刷 (Printing), 食品 (Food), 繊維 (Textiles), and 電気 (Electricity).

(二) 法人

Table with 15 columns: 行目 (Item), 収入 (Revenue), 支出 (Expenditure), and 支 (Sub-expenditure). It details financial data for various manufacturing and service sectors, including raw materials, labor, and energy costs.

總數

Table with 15 columns: 借入金 (Borrowing), 借入金 (Borrowing), 借入金 (Borrowing), 借入金 (Borrowing), 借入金 (Borrowing), 借入金 (Borrowing), 借入金 (Borrowing), 借入金 (Borrowing), 借入金 (Borrowing), 借入金 (Borrowing), 借入金 (Borrowing), 借入金 (Borrowing), 借入金 (Borrowing), 借入金 (Borrowing), 借入金 (Borrowing). It provides a detailed breakdown of financial flows, including interest, dividends, and other income.

(1) 合 名

Table with columns for 符號, 項目, 工場又ハ職場數, 資本金, 資本總額, 原動機, 事務員, and others. It lists various manufacturing and service activities across multiple rows.

會 社

(其ノ一)

Table with columns for 技術員, 職工, 徒弟, 家族従業員, 其他ノ従業員, 合計, 生産額, and others. It provides detailed data on personnel and production for various companies.

(1) 合 名

Table with columns for '工場又ハ職場數' (Factory/Workplace Count), '資本金' (Capital), '運轉資本' (Working Capital), '資本總額' (Total Capital), '原動機' (Prime Movers), and '事務員' (Staff). Rows are categorized by industry type (E, F, G, H, I, J) and sub-type.

會 社

(其ノ三)

Table with columns for '技術員' (Technical Staff), '職工' (Workers), '徒弟' (Apprentices), '家族従業員' (Family Employees), '其他ノ従業員' (Other Employees), '合計' (Total), and '生産額' (Production Amount). It also includes '自製又ハ委託生産價格' (Self-made or Commissioned Production Price) and '受託生産加工及修理工賃額' (Commissioned Production, Processing, and Repair Work Charge Amount).

(口) 合 資

Table with 15 columns: 符號, 工場, 資本金, 運轉資本, 資本總額, 原動機, 事務員, etc. It lists various industrial sectors and their financial and operational metrics.

會 社

Table with 21 columns: 技 術 員, 職 工, 徒 弟, 家 族 從 業 員, 其 他 從 業 員, 合 計, 生 產 額, 符 號. It details employee counts by category and production amounts for different companies.

(口) 合 資

Table with columns for 符 號 (Symbol), 項 目 (Item), 收 入 (Revenue), and 支 出 (Expenditure). It includes detailed financial data for various manufacturing categories like 紡織工業 (Textile Industry), 機械器具工業 (Machinery and Instruments Industry), and 窯業 (Ceramics Industry).

會 社

(其ノ二)

Table with columns for 借 入 金 (Borrowing), 貸 金 及 給 料 (Loans and Allowances), 租 稅 及 公 課 (Taxes and Fees), 修 繕 費 及 利 子 (Maintenance and Interest), 其 他 / 營 業 費 (Other/Operating Expenses), 經 費 總 額 (Total Expenses), and 借 入 總 額 (Total Borrowing). It includes financial data for various categories like 貨金及給料 (Loans and Allowances), 租稅及公課 (Taxes and Fees), etc.

(口) 合 資

Table with multiple columns for 収入 (Income) and 支出 (Expenditure) categorized by 項 (Item) and 目 (Sub-item). Includes sub-sections like 原料及材料費, 地代及場賃, and 燃料及動力費.

會 社

(其ノ四)

Table for 出 (Output/Expenses) with columns for 借入金 (Borrowing), 負債 (Liability), 総回 (Return), 固本 (Fixed Capital), and 符號 (Symbol). Includes sub-sections like 賃金及給料, 租税及公課, 修繕費, 利子 (Interest), 其他ノ營業費, and 経費總額.

(八) 株式

Table with 4 main columns: 収入 (Income), 支 (Expense), 燃料及動力費 (Fuel & Power Costs), and 賃金及給料 (Wages & Salaries). Rows include manufacturing categories like 紡織工業 (Textile Industry) and 機械器具工業 (Machinery Industry).

會社

Table with 16 main columns: 借入金 (Borrowing), 負債 (Liabilities), 純利益 (Net Income), 役員報酬 (Director Compensation), 役員手当 (Director Allowance), 役員退任金 (Director Retirement), 役員退職金 (Director Retirement), 役員退職給付 (Director Retirement Benefits), 役員退職給付準備金 (Director Retirement Benefits Reserve), 役員退職給付準備金増減 (Director Retirement Benefits Reserve Changes), 役員退職給付準備金繰入 (Director Retirement Benefits Reserve Contributions), 役員退職給付準備金繰出 (Director Retirement Benefits Reserve Distributions), 役員退職給付準備金繰入額 (Director Retirement Benefits Reserve Contributions Amount), 役員退職給付準備金繰出額 (Director Retirement Benefits Reserve Distributions Amount), 役員退職給付準備金繰入率 (Director Retirement Benefits Reserve Contributions Rate), 役員退職給付準備金繰出率 (Director Retirement Benefits Reserve Distributions Rate).

第三業態別(組織別)

一 製造之部

(一) 總

Table with columns: 符號, 工場又ハ職場數, 資本金, 運轉資本, 資本總額, 原動機, 事務員, 計. Rows include various manufacturing categories like 紡織工業, 食品工業, 機械器具工業, etc.

數

(其ノ一)

Table with columns: 技術員, 職工, 徒, 家族従業員, 其他ノ従業員, 合計, 生産額, 符號. Rows correspond to the categories on page 82, showing employee counts and production values.

符號	項目	收入						支出																									
		合計		原料及材料費		地代及場賃		燃料及動力費				其他		賃金及給料		稅租及公課		修繕費及費		利子		其他營業費		經費總額		借入金		負債 率	總回 轉率	因本 同轉 率	符號		
		金額	百分比	金額	百分比	金額	百分比	金額	百分比	金額	百分比	金額	百分比	金額	百分比	金額	百分比	金額	百分比	金額	百分比	金額	百分比	金額	百分比	金額	百分比					金額	百分比
E	化學工業	394,665	100.0	250,360	67.3	6,525	1.8	3,513	29.6	7,369	62.2	970	8.2	11,852	3.2	51,235	13.8	2,150	0.6	17,685	4.7	3,830	1.0	28,330	7.6	371,967	100.0					19,099	100.0

符號	項目	支出																								負債 率	總回 轉率	因本 同轉 率	符號
		合計		賃金及給料		稅租及公課		修繕費及費		利子		其他營業費		經費總額		借入金		負債 率	總回 轉率	因本 同轉 率	符號								
		金額	百分比	金額	百分比	金額	百分比	金額	百分比	金額	百分比	金額	百分比	金額	百分比	金額	百分比					金額	百分比						
E	化學工業	11,852	3.2	51,235	13.8	2,150	0.6	17,685	4.7	3,830	1.0	28,330	7.6	371,967	100.0	19,099	100.0					4.1	0.9	2.5	79				

(1) 本 業

Table with columns for 工場又ハ工場数, 資 本 (Fixed Capital, Circulating Capital, Total Capital), 原 動 機 (Motors, Horsepower), 事 務 員 (Staff), and 符 號 (Symbol). Rows include categories like 紡織工業, 機械器具工業, and 窯業.

總 數

(其ノ一)

Table with columns for 技 術 員 (Technical Staff), 職 工 (Workers), 徒 弟 (Apprentices), 家 族 従 業 員 (Family Members), 其 他 ノ 従 業 員 (Other Employees), 合 計 (Total), 生 産 額 (Production Value), and 符 號 (Symbol). Rows correspond to the categories on page 90.

(1) 本業

總數

(其ノ二)

Table with columns: 符號, 項目, 收入 (金額, 百分比), 原料及材料費 (金額, 百分比), 地代及場賃 (金額, 百分比), 燃料及動力費 (電力料金, 瓦斯料金, 其他燃料), 支出 (金額, 百分比), 借入金 (金額, 百分比), 負債 (金額, 百分比), 資本 (金額, 百分比), 固定資本 (金額, 百分比).

Table with columns: 符號, 項目, 借入金 (金額, 百分比), 負債 (金額, 百分比), 資本 (金額, 百分比), 固定資本 (金額, 百分比), 支出 (金額, 百分比), 貨金及給料 (金額, 百分比), 租稅及公課 (金額, 百分比), 修繕費及費用 (金額, 百分比), 利子 (金額, 百分比), 其他ノ營業費 (金額, 百分比), 經費總額 (金額, 百分比), 借入金 (金額, 百分比), 負債 (金額, 百分比), 資本 (金額, 百分比), 固定資本 (金額, 百分比).

(イ) 本 業

Table with columns for 工場又ハ職場数, 資本金, 運轉資本, 資本總額, 原動機, 事務員, and 生産額. Rows include various industrial categories like 化学工業, 印刷製本, 食品工業, 電気工業, and 其他工業.

總 數

Table with columns for 技術員, 職工, 徒弟, 家族従業員, 其他ノ従業員, 合計, 自製又ハ委託生産價格, and 受託生産加工及修理工賃額. Rows correspond to the industrial categories on page 94, showing detailed employment and production data.

(1) 本 業

Table with columns: 符 號, 項 目, 收 入 (合計, 金額, 百分比), 支 出 (原料及材料費, 地代及場賃, 燃料及動力費, 電力料金, 瓦斯料金, 其他ノ燃料金), and 借入金 (借入金額, 借入率).

總 數

(其ノ四)

Table with columns: 借入金 (借入金額, 借入率), 利息 (金額, 百分比), 其他ノ營業費 (金額, 百分比), 經營總額 (金額, 百分比), 借入金 (借入金額, 借入率), 負債 (負債率), 總回 (總回率), 固本 (固本率), 符 號 (Symbol).

(二) 個人

Table with columns for factory name (工場), investment (資本), original equipment (原動機), and employees (従業員). Includes sub-sections A, B, C, D, E for various manufacturing categories.

總數 (其ノ一)

Table showing total counts for employees, categorized by job type (技術員, 職工, 徒弟, etc.) and industry (A through E).

(二) 個人

Table with columns for '行' (Industry), '項目' (Item), '収入' (Income), and '支出' (Expenditure). It lists various manufacturing and service sectors with their respective financial data.

總數

(其ノ二)

Table with columns for '出' (Output), '借入金' (Borrowing), and '負債' (Liability). It provides a summary of financial flows and debt for various categories.

(1) 個人

Table with columns for 符號 (Symbol), 工場又ハ工場敷 (Factory/Plant), 資本金 (Capital), 本 (Main), 原動機 (Prime Mover), 事務員 (Staff), and 生産額 (Production Value). Rows include categories like 紡織工業 (Textile Industry), 機械器具工業 (Machinery Industry), and 窯業 (Ceramics Industry).

本業

(其ノ一)

Table showing 従業員数 (Number of Employees) categorized by 技術員 (Technical Staff), 職工 (Workers), 徒弟 (Apprentices), 家族従業員 (Family Employees), and 其他ノ従業員 (Other Employees). It also includes 生産額 (Production Value) and 符號 (Symbol) columns.

(イ) 個人

Table with columns for '項目' (Item), '収入' (Income), and '支出' (Expenditure). It lists various categories like '紡織工業' (Textile Industry) and '機械器具工業' (Machinery Industry) with detailed financial data.

本業

Table with columns for '項目' (Item), '借入金' (Borrowing), '負債' (Liability), and '資本' (Capital). It lists various categories like '金庫' (Treasury) and '機械器具工業' (Machinery Industry) with detailed financial data.

(イ) 個人

Table with columns for '項目' (Item), '収入' (Income), and '支出' (Expenditure). It lists various manufacturing and service categories with their respective financial data in Japanese Yen.

本業

Table with columns for '項目' (Item), '借入金' (Borrowing), '負債' (Liability), '純利益' (Net Profit), and '固定資産' (Fixed Assets). It details financial metrics for various business categories.

(三) 法人

Table with columns for '項目' (Item), '収入' (Income), and '支出' (Expenditure). It includes sub-sections like '紡織工業' (Textile Industry), '機械器具工業' (Mechanical Equipment Industry), and '窯業' (Ceramics Industry).

總數

(其ノ二)

Table with columns for '借入金' (Borrowing), '負債' (Liability), '借入金' (Borrowing), '借入金' (Borrowing), and '借入金' (Borrowing). It includes sub-sections like '貸金及給料' (Loans and Salaries), '租税及公課' (Taxes and Fees), '修繕費及費' (Maintenance and Fees), '利子' (Interest), '其他ノ營業費' (Other Business Expenses), '経費總額' (Total Expenses), and '借入金' (Borrowing).

(三) 法人

Table with 15 columns: 符號, 項目, 收入 (合計, 金額, 百分比), 支出 (原料及材料費, 地代及場賃, 燃料及動力費, 電力料金, 瓦斯料金, 其他ノ燃料), 金額, 百分比. Rows include various industrial categories like chemical products, food products, and machinery.

總數

(其ノ四)

Table with 15 columns: 符號, 項目, 借入金 (借入總額, 金額, 百分比), 負債 (負債總額, 金額, 百分比), 總回轉率, 因本回轉率, 符號. Rows include various industrial categories, continuing from page 128.

(イ) 合 名

Table with columns for 'Income' (収入) and 'Expenses' (支出). The 'Income' section has 'Total' (合計) with amount and percentage. The 'Expenses' section is divided into 'Raw Materials' (原料及材料費), 'Localities and Freight' (地代及場賃), and 'Fuel and Power' (燃料及動力費), with sub-categories like 'Electricity' (電力料), 'Gas' (瓦斯料), and 'Other' (其他ノ燃料).

會 社

Table with columns for 'Expenses' (支出) and 'Income' (借入金). The 'Expenses' section includes 'Wages and Salaries' (賃金及給料), 'Taxes' (租税及公課), 'Repairs' (修繕費), 'Interest' (利子), and 'Operating Expenses' (其他ノ營業費). The 'Income' section includes 'Total' (合計) and 'Total Income' (借入金) with amount and percentage.

(口) 合 資

Table with columns: 行 目 (Item), 工場 (Plant), 資本 (Capital), 原動機 (Prime Movers), 事務員 (Staff). Includes sub-sections A through E and various manufacturing categories like textiles, machinery, and chemicals.

會 社

(其ノ一)

Table with columns: 従業員 (Employees), 生産額 (Production), 受託生産加工及修理工賃額 (Outsourced production, processing, and repair charges). Includes sub-sections A through E and various manufacturing categories.

